

あいとまタクシー実証運行業務に関する質問及び回答一覧

No.	質問事項	質問内容	回答
1	仕様書5-(1)-②-(ロ) 運行経費について	「受託者は運行事業者と連携し、安全運行に努めること。また、運行経費（運賃収入を差し引いた額）を運行事業者へ支払うものとし、…」と記載されているが、運行経費については本件事業主体者の苫小牧市が負担される前提であり、その運行経費については受託者経由運行事業者を支払うスキーム（＝仕様書4. 委託料上限額に含まない）、との理解で宜しいか。	本業務における「運行経費（運賃収入を差し引いた額）」につきましては、委託料上限額4,937,499円（消費税込）の中に含まれております。当市が委託料とは別枠で運行経費を負担するスキームではございません。受託者様には、この上限額の範囲内でシステムの構築・運用等の経費に加え、仕様書に定められた運行条件に基づく運行事業者への支払い分を含めて、管理いただくことを想定しておりますので、各期間における具体的な実運行日数や、想定される運賃収入などを精査・試算いただいた上で、上限額（4,937,499円）を超えないようご提案・積算をお願いいたします。
2	仕様書5-(1)-③ 「とまコネクト」との連携について	「勇払地域において昨年度実施した「とまコネクト事業」との連携…」について記載されているが、現時点で苫小牧市が想定している連携内容について、差し支えない範囲でご教示頂くこと可能か。	「とまコネクト事業」との具体的な連携内容につきましては、現在、別途協力会社と協議中であり、詳細な仕様については未確定の状況です。 現時点で当市が想定している連携の一例としては、同一の車両を時間帯によって切り替えて有効活用し（例：朝の通勤時間帯は「とまコネクト事業」としての運行、日中の時間帯は本業務（あいとまタクシー）としての運行、夕方・退勤時間帯は再び「とまコネクト事業」としての運行）など、地域の移動需要に応じて効率的にシェアする事業モデルを確立することを目指しています。 なお、上記はあくまで現時点での想定の一例であり、実際の運行時間やシステム・アプリ等での運用方法、運行事業者との調整等については、契約締結後に当市や関係事業者と密に連携を取りながら具体化していくこととしています。
3	仕様書5-(1)-②-(ロ) 運行経費単価について	30分当たり1台当たり3,770円、4,524円は税込と考えてよろしいか。また、「車両は乗客定員8名以上が望ましい」とあるが、車両が大きくなった場合も上記金額は変動ないか。	乗客定員8名の車両を使用する場合は、30分当たり5,350円とし、令和8年12月10日以降は30分当たり6,420円とします。なお、使用車両につきましては、8名以上であることは必須ではございません。